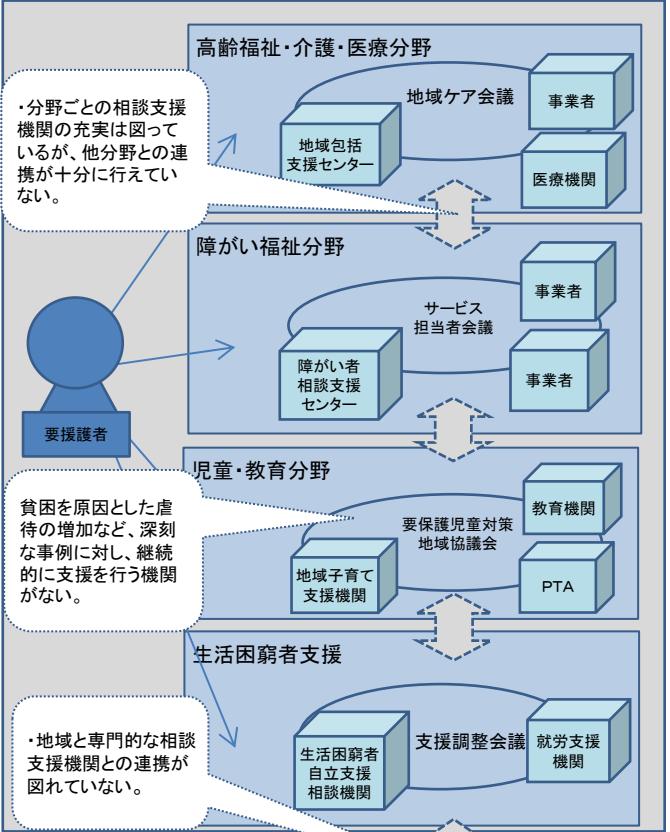


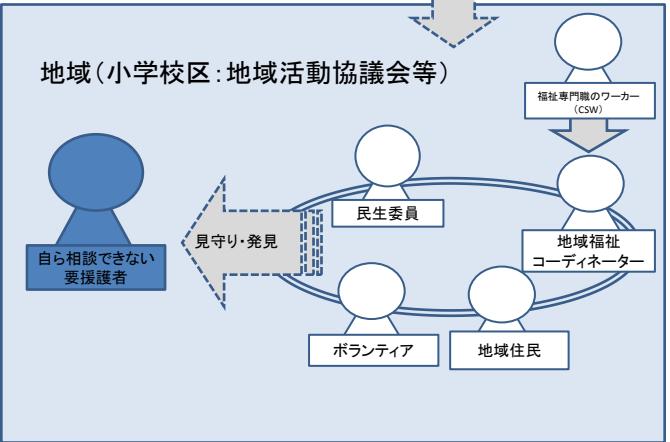
相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制の充実【基本的な枠組み】

【現状・課題】

専門的な相談支援機関による支援



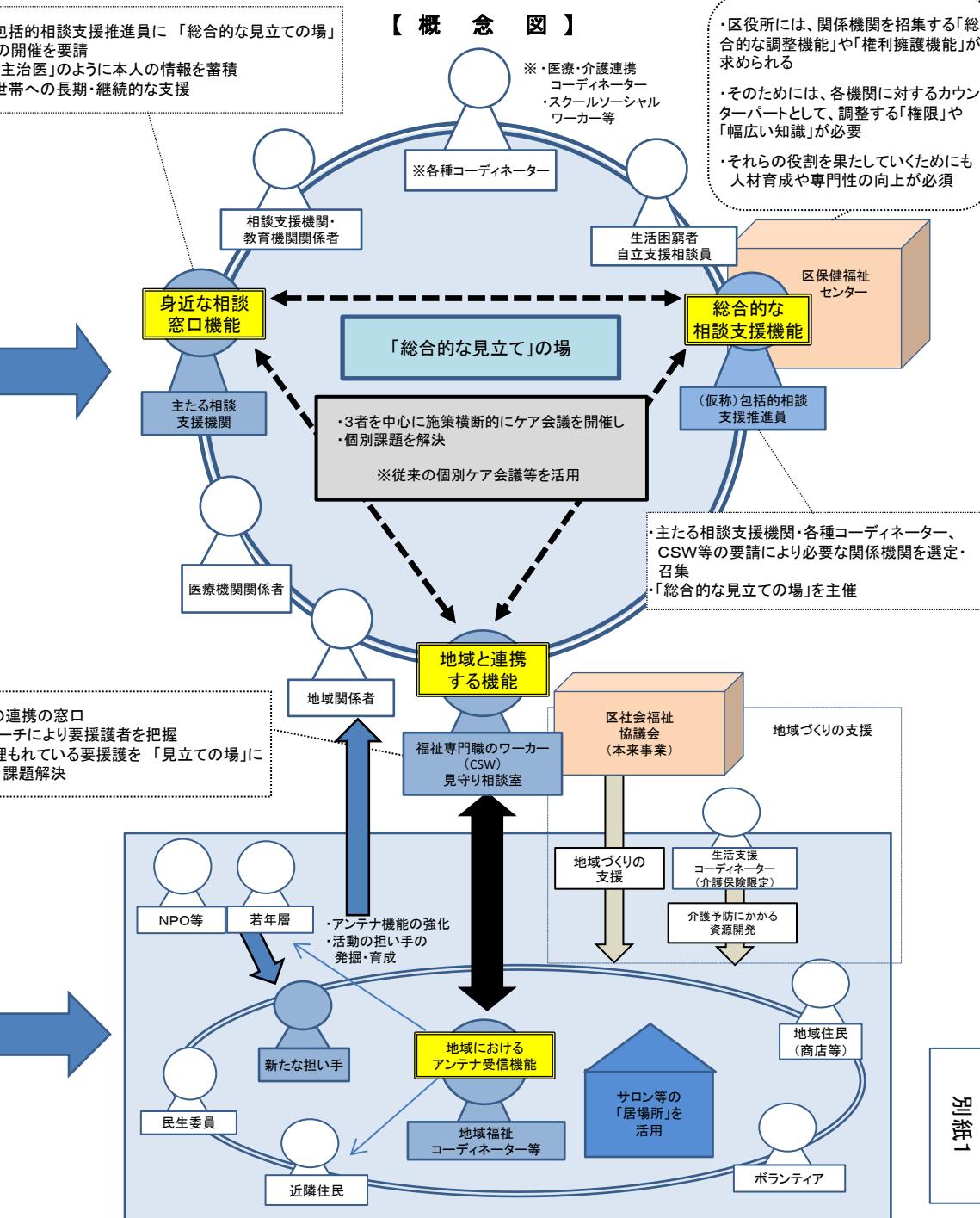
地域における見守り支援活動



支援につながらず地域で埋もれている要援護者等を、CSWを中心として相談支援機関につなげる機能の強化

- 包括的相談支援推進員に「総合的な見立ての場」の開催を要請
「主治医」のように本人の情報を蓄積
世帯への長期・継続的な支援

既存のしくみでは解決できない支援困難事例に対し、
施策横断的に各関係機関が集う「総合的な見立ての場」を開催



本人を中心とした「相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制」【目指すべき理想像】

地域における見守り支援活動による支援

- 専門的な相談支援機関の支援のしくみとの連携により、「課題解決力」を向上
- 個別事例の解決を通した「気づき」により、他の要援護者に対する「支援の輪」の展開

「総合的な見立ての場」において
支援方法の役割分担

専門的な相談支援機関による支援

- 地域との連携ができるしくみにより、よりきめ細やかに本人の地域生活を支援
- 「主たる相談支援機関」に支援内容等の情報を一元化し、ライフステージの変化にも対応した長期・継続的な支援

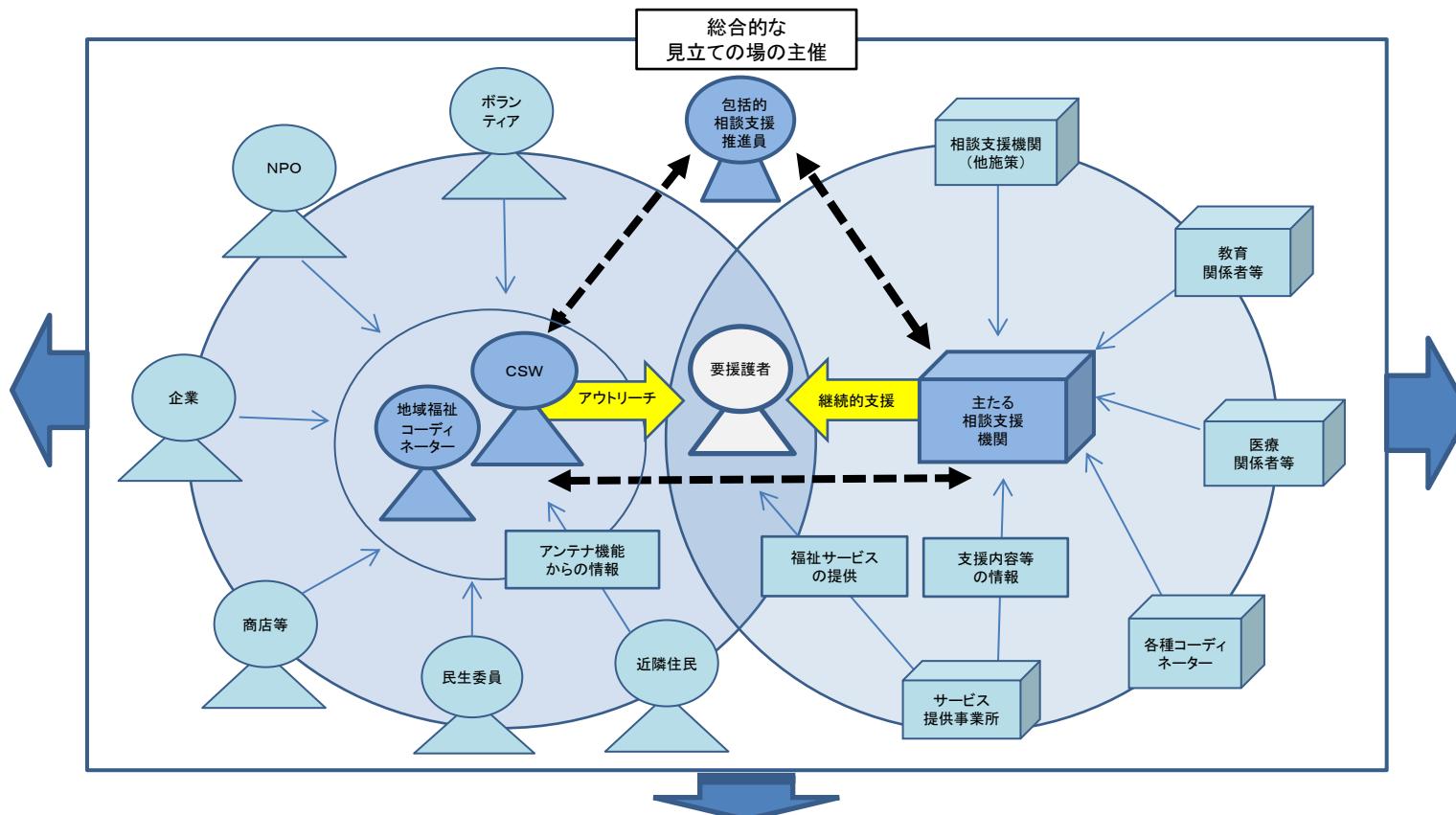
問題が深刻化する前に対応できる
「予防的アプローチ」の実施

複合課題等、支援困難事例に対し、
的確に対応し、課題解決できるしくみの構築

総合的な
見立ての場の主催

支援が必要となる人に目が行き届き、
早期の把握・早期の対応ができる

「個別ケア会議の強化により、
「施策横断的な支援」ができる



誰もが住み慣れた地域で
安心して暮らせる地域社会の実現